

## 2030年の未来社会に向けた提案を7月に募集開始 ～ 第13回「NRI 学生小論文コンテスト2018」～

株式会社野村総合研究所（以下「NRI」）は、大学生、高校生を主な対象にした第13回「NRI 学生小論文コンテスト2018」を開催します。本コンテストは、若者に自ら未来を切り拓いてもらいたいとの思いから、社会のあるべき姿とその実現に向けた施策を考えてもらう目的で、2006年から毎年開催しています。

今年は、「2030年の未来社会を創るイノベーションとは ～世界に示す日本の底力！～」をテーマに、7月2日から募集を開始します。昨年と同様、論文審査を通過した学生によるプレゼンテーションも審査の対象とし、受賞者を決定します。



第13回のポスター



第12回の受賞者（NRI 東京本社にて）

コンテストの詳細は、<http://www.nri.com/jp/event/contest/>をご覧ください。

### ■ 「2030年の未来社会を創るイノベーション」がテーマ

人口減少や高齢化、財政破綻の不安、産業競争力の低下など、現在の延長線上で日本の未来を考えると、明るい姿を描くことは容易ではありません。では、2030年までの間に、世界はどのように変わっていくのでしょうか。AI（人工知能）やIoT（Internet of Things）などのデジタル技術は、今後もさらに進展していくと考えられます。一方で、日本には独自の文化や長らく培われてきた優れた技術が数多くあります。これらを新たな技術と融合することで、地方の中小企業であってもグローバル化への活路を見いだす可能性が秘められています。さまざまな問題を抱え、その課題解決に臨んできた日本だからこそ、世界を変えるイノベーションを起こしうるのです。

これらのことを踏まえ NRI では、本コンテストを通じて、若者に逆境の中でも夢のある未来社会と、日本が持つ底力について考えてもらうため、今回のテーマを設定しました。

## ■ 最終審査では「プレゼンテーション力」を採点

論文審査は、独自性や鋭い視点を持った問題提起と、広い視野で実現性の高い解決策を提案する論文を高く評価するために、「問題発見力」「問題解決力」「文章力」の3つの観点から行います。

さらに、論文審査を通過した学生には、最終審査会でプレゼンテーションを行ってもらい、その資料や発表も採点した上で、受賞作品を決定します。

NRIは、本コンテストが若者を含む幅広い世代にとって、日本の未来を考えるきっかけになることを期待しています。

---

### 【お知らせに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 小松、十河

TEL : 03-5877-7100 E-mail : kouhou@nri.co.jp

### 【コンテストに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 「NRI 学生小論文コンテスト 2018」事務局 松本（伸）、本田

TEL : 03-5877-7555 E-mail : contest2018@nri.co.jp

## 【ご参考】

### ●「NRI 学生小論文コンテスト」開催の主旨

NRI は、「未来創発 –Dream up the future. –」という企業理念のもと、未来社会のパラダイムを洞察し、その実現を担うことを使命としています。この一環として、これからの社会を担う若い世代の方々に、日本や世界の未来に目を向け、考える機会を持っていただくことを目的に、2006 年から「NRI 学生小論文コンテスト」を開催しています。NRI は、コンテストで入賞した若い世代からの提案を広く社会に公表することによって、若者を含む幅広い世代が、日本と世界の未来を考えるきっかけにしてほしいと考えています。

### ●募集要項

#### 1. 募集テーマ

##### 「2030 年の未来社会を創るイノベーションとは ～世界に示す日本の底力！～」

人口減少や高齢化、財政破綻の不安、産業競争力の低下など、現在の延長線上で日本の未来を考えると、明るい姿を描くことは容易ではありません。「公」への依存は限界を迎え、地域、企業、さらには国民一人ひとりが、自らの力と責任で生きていかなければならない時代が到来します。

このような状況を打破して成長・進化するために、日本の地域や企業は、必然的に世界規模で活路を見いだしていくことが求められます。大都市や大企業だけでなく、地方も含めた日本の全ての地域や企業が、グローバル化を加速せざるを得ないのです。

しかし、悲観することはありません。第二次世界大戦後、経済的にどん底の中から、日本は高度経済成長によって見事な復活を果たしました。コンテストに応募される学生の皆さまの祖父母に当たる世代の方々が、日本の成長を支えたのです。その DNA を受け継ぎ、未来を担う学生の皆さまに、2030 年の未来に向けた提案をしてもらいたいと思います。

では、2030 年までの間に、世界はどのように変わっていくのでしょうか。AI（人工知能）や IoT（Internet of Things）などのデジタル技術は、今後もさらに進展していくと考えられます。また NRI では、日本の労働人口の 49%が就いている職業が、10～20 年後には AI やロボットで代替できるという推計を行いました。これは一見すると脅威に感じられますが、AI の仕事と人間の仕事を上手に切り分けることで、日本の労働人口減少に対する特効薬になりえます。

さらに、日本には優れた文化や日本独自の技術があります。これらを新たな技術と融合することで、地方の中小企業にもグローバル化への活路を見いだす可能性が秘められています。さまざまな問題を抱える、課題先進国の日本だからこそ、世界を変えるイノベーションを起こせるのです。

NRI のビジョンステートメントである「Share the Next Values!」には、明るい未来への強い思いと、それを実現する底力、そして様々な強みをもつ人々との共創により、多くの人

を幸せにする「真に意味あるイノベーション」を起こそう、という意味が込められています。

逆境をバネにして「真に意味あるイノベーション」を起こし、日本、ひいては世界の新しい時代を切り拓く、皆さまからのオリジナリティーある提案をお待ちしています。

## 2. 募集部門

### 【大学生の部】

字 数：4,500～5,000 字（別途、400 字程度の要約をつけてください）

応募資格：日本国内の大学院、大学、短大、高等専門学校（4～5 年）に在籍している学生で、2018 年 7 月 2 日時点で 27 歳以下の、個人またはペア（ペアの相手は、「大学生の部」「高校生の部」いずれかの応募資格者であること）。

※1：大学進学をめざして勉強している大学受験資格を持つ学生の方は、大学生の部にご応募ください。

※2：日本国内の大学院、大学、短大、高等専門学校（4～5 年）、日本語学校に在籍している留学生で、2018 年 7 月 2 日時点で 30 歳以下の方は、大学生の部にご応募ください。

賞 賞：大賞 1 作品（賞金 50 万円）、優秀賞 2 作品（賞金 25 万円）、  
奨励賞 数作品（賞金 5 万円）

### 【高校生の部】

字 数：2,500～3,000 字（別途、200 字程度の要約をつけてください）

応募資格：日本国内の高校、高等専門学校（1～3 年）に在籍している学生で、2018 年 7 月 2 日時点で 20 歳以下の、個人またはペア（ペアの相手は、「高校生の部」の応募資格者であること）。

賞 賞：大賞 1 作品（賞金 30 万円）、優秀賞 2 作品（賞金 15 万円）、  
奨励賞 数作品（賞金 3 万円）

## 3. 応募にあたっての留意事項

- ・ 応募いただく論文は、日本語で執筆された、自作で未発表のものに限ります。
- ・ 論文の字数制限は本文を対象とし、「タイトル」や「出所の記載」「注釈・凡例」「参考文献一覧」などは字数に含みません。
- ・ 論文の中で、他の著作物を引用される場合は、その箇所を明記するとともに、論文の最後に出所を記載してください。
- ・ 図表の数は 5 つ以内としてください。
- ・ NRI 指定の応募用紙（「4.応募方法」参照）を使っていないもの、論文に独自のタイトルや要約がないものは審査対象外になります。

- 論文審査を通過して最終審査に残った方には、2018年12月21日（金）の最終審査会で資料を用いたプレゼンテーションを行っていただきます。当日の交通費、および遠方などの理由で事務局が必要と判断した方の宿泊費は、NRIが負担します。
- 他のコンテストなどに同内容の論文を多重応募することは禁止とします。
- 入賞した論文の著作権はNRIに帰属します。
- 入賞した論文のタイトルと入賞者の氏名・学校名・学年を公表させていただくこと、および最終審査会のプレゼンテーションの様子をYouTubeなどで公開させていただくことをご了承ください。
- NRIグループ社員の家族は応募できません。

#### 4. 応募方法

末尾にある「コンテストホームページ」でテーマ詳細や応募要項を確認の上、「応募用紙」をダウンロードし、必要事項と論文（本文、要約）を記入して、以下のいずれかの方法でお送りください。応募用紙は、5月下旬ごろに公開予定です。

- A. 「コンテストホームページ」の応募画面からオンラインで送信する
- B. CD-Rに保存の上、コンテスト事務局に郵送する（CD-Rは返却いたしません。）

#### 5. 募集期間

**【大学生の部】** 2018年7月2日（月）～9月6日（木）

**【高校生の部】** 2018年7月2日（月）～9月12日（水）

- オンライン送信：締切日当日24時までに事務局で受信したものが有効
- 郵送：締切日までの消印が押されたものが有効

#### 6. 審査方法

NRIグループの社員による一次審査の後、NRI未来創発センター長の桑津浩太郎研究理事を委員長、ジャーナリスト・名城大学教授・東京工業大学特命教授の池上彰氏、ノンフィクションライターの最相葉月氏の2名を特別審査委員、NRI社員数名を審査委員とする審査委員会による論文審査を行い、最後に論文審査を通過した方によるプレゼンテーションで受賞作品を決定します。

審査は、学校名や氏名などの応募者属性を秘匿し、厳正に行います。

##### 【審査のポイント】

- 各論文は、「問題発見力」「問題解決力」「文章力」の3つの観点から審査
- 独自性や鋭い視点を持った問題提起、視野の広い解決策の提案を高く評価
- 論文審査を通過した方によるプレゼンテーション

#### 7. 最終審査会・表彰式

2018年12月21日（金）に最終審査会および表彰式を東京で開催します。

※コンテストの詳細は、<http://www.nri.com/jp/event/contest/>をご覧ください。